

平成25年3月4日  
公益社団法人日本建築積算協会

**英国王立チャータード・サベイヤーズ協会（R I C S）  
と提携協力の覚書を締結  
建築コスト管理士は、直接R I C Sに入会が可能となり、  
国際的な活躍が期待される**

公益社団法人日本建築積算協会（会長：藤上輝之）は、3月1日、英国王立チャータード・サベイヤーズ協会（The Royal Institution of Chartered Surveyors：略称 R I C S）と提携協力の覚書を締結いたしました。

これにより、会員の継続学習（CPD）や研究活動へのR I C Sからの情報提供が可能となり、長期的な協力関係が構築されました。

またこの締結により、当協会の最上位資格である「建築コスト管理士」の資格者は、R I C Sの個人正会員（MR I C S）として、直接入会することが可能となりました。

R I C Sの会員は、建設・土地・不動産における17分野の専門グループに分かれています。「建築コスト管理士」は、「Quantity Surveying & Construction Professional Group」に所属します。このグループは、R I C Sの源流ともいえる存在で、一般に『Chartered Quantity Surveyor』の称号で呼ばれ、建設プロジェクトにおけるコストマネジメントの高度な専門家として、世界各国で主導的な役割を果たしています。

## 『覚書』の調印に臨んで

この度、当協会と英国王立チャータード・サバイヤーズ協会との間で成立した提携協力関係が、建築コスト管理士の社会的・国際的評価を高める上で極めて有益であることは論を待ちません

このことは、当協会にとり積算・コストの専門職能の確立に資するための『器の整備』という面で、昨年9月に衣替えした公益社団法人化に続く第2弾ともいえる画期的な出来事であります。

今回の提携の意味する重要性は次の2点です。その一つは、当協会の資格である建築コスト管理士が、国際的にみて従来高嶺の花の感であったC.Q.Sと同等なものとして認められたことであり、国際的な活動、例えば海外工事のPMやCM等の業務に従事する際に、建築コスト管理士の資格を持ち、かつ10年の実務経験があれば、RICSの会員になることによってC.Q.Sとして参画できる道が開けたことです。

当協会はこの10数年間PAQSのメンバーとして、国際活動に積極的に取り組んできましたが、こうした努力の積み重ねが今回の慶事に結び付く原動力となりました。

もう一つは、建築コスト管理士資格が、国内的に長い歴史と権威を有することから知名度の高い不動産鑑定士と同等なものとして位置づけられたことです。

このことは、さらに他の協会資格である建築積算士や建築積算士補にとっても誇りであり、積算・コストの専門職能の確立にむけて励みとなる目標を与えてくれました。

もちろん、口を開けて待つだけではこうした僥倖に恵まれることはできません。当協会が、器の整備と並行させて『内容の充実』を図ってきたことを強調したいと思います。

一例を挙げますと、PCMガイドブック・シリーズの刊行は、全精力を費やして第5巻目まで漕ぎつけました。今後、時を待たずして第7巻までの刊行を予定しています。

当協会は、こうした表裏一体の活動を、ペリカン作戦と名付けて全国的なPRの積極的展開を図り、建築関連の会社・組織・団体等の役員や上司の方々に協会資格者の重要性を訴え、会員増強に傾注しています。

建築コスト管理士の方々や、これからこの魅力ある資格に挑戦されようとする皆様におかれては、当協会が用意する継続的なCPDシステムを活用してコストにかかわる専門知識やノウハウを吸収され、近い将来、名実ともに信頼に足る専門家として成長されることを、心より期待しています。

公益社団法人日本建築積算協会  
会長 藤上 輝之

## 【参考資料 1】提携協力に関する覚書



### MEMORANDUM OF CO-OPERATION

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)  
The Royal Institution of Chartered Surveyors (RICS)

In recognition of the mutual interest and benefits to members of both bodies, this Memorandum of Co-operation (MoC) sets out the basis for co-operation between The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ) and The Royal Institution of Chartered Surveyors (RICS).

We agree that:

1. BSIJ and RICS will build and maintain a long term co-operative relationship, to encourage the exchange of professional knowledge and development.
2. BSIJ and RICS will collaborate in:
  - a. Co-branding of Continuing Professional Development (CPD) events, where appropriate, and to offer members of BSIJ and RICS the same rates for such events;
  - b. Sponsorship of professional events;
  - c. Facilitating BSIJ members to become members of RICS and RICS members to become members of BSIJ where there is a relevant route(s);
  - d. Preferential rates in the marketing of approved material to each others membership base and staff and office resources when required;
  - e. Working together on industry guidance notes and research;
3. BSIJ and RICS will partner on issues, that are agreed, serve the interests of members both locally and internationally
4. The leadership of BSIJ and RICS will meet at least once every two years to discuss matters of common interest. Senior staff of both bodies will maintain regular contact.
5. Both BSIJ and RICS undertake to notify each other in respect of any proposed constitutional changes.
6. Both BSIJ and RICS agree to act in good faith in recognizing and respecting each other's professional standing, laws and rules in their respective countries. Either body may amend, cancel or terminate this MoC but only after a suitable consultation process of not less than three months.
7. This MoC does not hinder other relationships and / or agreements with any other body

FUJIKAMI, Teruyuki  
BSIJ President  
Signed on behalf of  
The Building Surveyor's Institute of Japan

COLLETT, Alan  
RICS President  
Signed on behalf of  
The Royal Institution of Chartered Surveyors

March 2013

March 2013

*T. Fujikami*

*Alan Collett*

## 【翻訳】

### 提携の覚書

両協会の会員の相互の関心や特典についての認識に基づき、本提携覚書(MoC)は、BISJ 及び RICS 間の提携協力の行動基準として作成しています。

私達は以下の内容に同意します。

1. BISJ と RICS は、お互いの専門知識と開発の取り交わしを促進するため、長期的な提携協力関係を構築・維持していく。
2. BISJ と RICS は以下のことに協力して取り組みます。
  - a. 適切な方法での継続教育(CPD)行事の両協会のブランド提携  
このような行事を同じ頻度で BISJ と RICS の会員に提供する。
  - b. 専門家の行事の後援
  - c. 適切な方法を通して BISJ 会員が RICS 会員に、RICS 会員が BISJ 会員になることの促進
  - d. 必要に応じてお互いの会員基準に基づいて承認された出版物の販売やスタッフやオフィス資源についての費用の優遇措置
  - e. 産業案内資料作成と研究活動の連携
3. BISJ と RICS は国内及び国外の会員の関心のある同意事項について提携します。
4. BISJ と RICS のリーダーは少なくとも2年に1度、共通の関心事について話し合います。また両協会のシニアスタッフは定期的に連絡を取り合います。
5. 両協会は、規約変更について互いに通知することを約束します。
6. 両協会は、互いの国の法律や規則、専門的立場を評価、尊敬し、誠意を持って行動することに同意します。いずれの協会もこの提携覚書書の変更、取消、または終了することができるが、少なくとも3か月の適切な協議課程を経た後にのみできるものとする。
7. この提携覚書は、他の団体との同意及び/または関係を妨げないものとする。

以上

## 【参考資料2】建築コスト管理士資格について

「建築コスト管理士 (Qualified Building Cost Manager)」資格は、平成18年(2006年)に創設された、建築コストに関する最上位の認定資格です。

『企画・構想から維持・保全、廃棄にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識および技術を有する専門家』と定義されています。

毎年行われる資格認定試験では、建築積算に関する知識・技術はもとより、発注戦略・調達戦略、施工関連技術、LCC(ライフサイクルコスト)、VE(バリューエンジニアリング)、CM(コンストラクション・マネジメント)、環境配慮その他幅広いコストマネジメントに必要な知識を要求されます。現在、約1,100名の「建築コスト管理士」がいます。

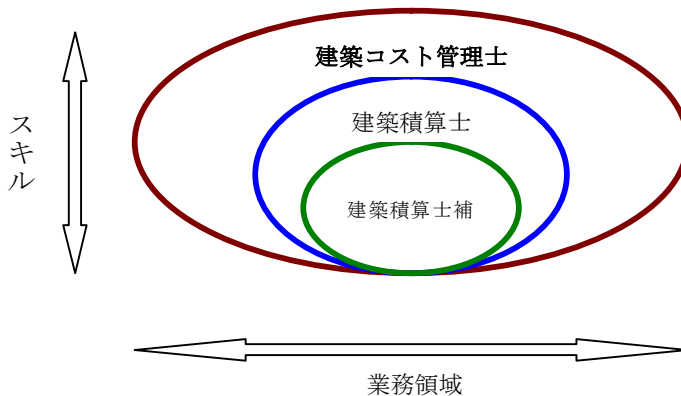
当協会では、「建築コスト管理士」以外に、「建築積算士 (Qualified Building Cost Engineer)」が資格制度の中核を占めています。

『建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識および技術を有する専門家』と定義されています。

この資格は、昭和54年(1979年)に創設されましたが、その後発展的解消を遂げ、平成2年(1990年)建設大臣認定資格「建築積算資格者」制度が発足しました。平成13年(2001年)大臣認定が廃止され、当協会独自の認定資格となり、平成21年(2009年)「建築積算士」へと名称変更を行いました。現在、約11,000名の「建築積算士」がいます。

以上2つの実務資格に加え、学生を対象にした「建築積算士補」制度が、平成21年(2009年)に創設されました。

これは一定の要件を備えた認定校における「建築積算」講座の受講生を対象とした資格試験です。学校におけるコストマネジメント教育と資格取得の両輪により、建築コストに関する基礎的な知識をもった人材を社会に送り出すことを目的としています。平成24年度は、大学・短大・高専・高校・職業大学校・専門学校と広範囲に45校の講座が開かれ、累計約1,000名の「建築積算士補」が誕生しました。



### 【参考資料3】RICSについて

英国王立チャータード・サバイヤーズ協会（The Royal Institution of Chartered Surveyors：略称 R I C S）は、1868年に英国で設立され、建設や不動産を中心とした幅広い資産に関する職能団体です。

1990年代以降急速にグローバル化が進み、現在は世界146か国で約15万人の会員を擁し、うち正会員が10万人超といわれています。

R I C Sには3つのジャンル、17種類のプロフェッショナル・グループがあります。それぞれの専門領域には、我が国のように公的な意味での認定資格を提供しているわけではなく、R I C S会員であることがハイレベルの専門職業人としての重みを備えたものとして、社会に定着しています。

R I C Sの会員には、卓越した成果を達成した者に与えられる「F R I C S（Fellows）」、専門性の高い分野で働く人に与えられる「M R I C S（Professional Members）」、エントリーレベルの「A s s o c R I C S（Associate Members）」があります。一般的には、R I C Sが認定した大学のコースで学位を取得し、1～2年の実務研修後、レポート・面接・テストを受けるコースが一般的といわれています。

今回のR I C Sとの提携協力により、当協会認定の「建築コスト管理士」は、M R I C Sとして入会でき、『Chartered Quantity Surveyor』の称号を得ることができます。

### 【参考資料4】公益社団法人日本建築積算協会について

日本建築積算協会（以下、当協会といいます）は、昭和42年（1967年）に発足した日本建築積算事務所協会を母体に、昭和50年（1975年）、社団法人日本建築積算協会が設立され、平成24年（2012年）9月に公益社団法人となりました。

当協会の特徴は、設計事務所・CM（コンストラクション・マネジメント）会社・総合建設会社・積算事務所・官公庁等発注者・専門工事会社・学識経験者等の建設産業界における幅広い分野で活躍するコストマネジメント業務に関わる個人会員が主体で構成されていることです。

現在の正会員数は約3,200名、賛助会員を含め全体で約3,400名です。

当協会は、現在「積算」を建設工事費の算定業務に限定せず、「PCM（Project Cost Management）」つまり建設プロジェクトの様々な段階におけるコストマネジメント業務全般と位置付け、以下の事業を展開しています。

#### 1. 人材育成・認定事業

資格認定事業と学校教育・社会人教育を有機的に組合せ、建築技術者のライフサイクル全体にわたって、技術・知識の継続的なレベルアップをサポートしています。

#### 2. 調査研究・情報発信事業

PCM（Project Cost Management）に関連する技術や知識ベースの研究・開発、出版を通じて、建設産業界をはじめ社会に情報発信を行っています。

また、海外関連団体との交流を行っています。

#### 3. 評価・評定・相談事業

建築コストに関連した諸問題を、第三者として中立的に評価・評定しています。

## 日積協、英国協会と提携

# 海外に活躍の場広がる

## コスト管理士にQSS称号

日本建築積算協会(藤上輝之会長)は、英国王立チャータード・サベイヤーズ協会(RICS)と提携を結んだことを受けて8日、東京都港区の日積協事務局で会見を開いた。同協会の最上位資格「建築コスト管理士」が、RICSの正会員としてチャータード・クオンティティ・サーベイヤー(公認建築積算士)としてQSS(を名乗れるようになったこと)で、同協会は建築コスト管理士が国際的にも評価され活躍の場が広がることも、国内での存在価値も高まるとみている。



会見する日積協幹部

1日付で日積協がRICSと締結した提携協力の覚書により、建築コスト管理士資格者は入会金と年会費を納付すればRICSに直接入会が可能となり、コスト・契約・発注の管理を手掛けるQSSの称号を得られる。

日系企業が海外で仕事をすすめる際、ローカルゼネコンを使うことが増えている。日系企業にとつて海外のメイン市場となるアジア圏でもQSSは広く浸透しているため、建築コ

スト管理士が活躍する場が広がる。一方、「日本国内に入ってくる外資系企業にもインパクトを与えられる」(加納恒也資格制度委員長)などの利点もあり、建築コスト管理士がQSSの称号を持てば国際的に同資格が認識され、国内外での存在価値が高まるとみられる。

RICSは、アジアの中で中国、インド、日本を重要な市場と位置付けているという。佐藤隆良副会長は「英国人以

外で初めてのRICS会長となったオング・シー・リアン氏から話があり、約2年半前から提携を模索してきた」と述べ、RICSのアジアを重視する姿勢が、今回の提携につながったことを説明した。

野呂幸一副会長は「長い歴史の中でも重要な提携となる」と述べ「RICSが持つ情報をいつでも見ることができ、ノウハウを得られる」と国内資格者の能力向上に期待を込めた。

藤上会長は「建築コスト管理士の将来にとつて、たいへん喜ばしい。専門職能の確立を目指す上で、いい布石となった」と、提携を生かしてさらなる発展を目指すことを強調した。

### 日積協 英国協会に入会可能 CPD 協力関係を構築 研究も連携

日本建築積算協会(藤上輝之会長)は、英国王立チャータード・サーベイヤーズ協会(RICCS)と長期にわたる協力関係を構築した。会員のCPD(継続能力開発)や研究活動に両団体で取り組むほか、トップ同士の定期的な会合を通じて連携を強化する。また、日積協の最高位資格・建築コスト管理士資格者が直接

入会できるようになる。ケルプは、チャータード・クオンテイター・サーベイヤー(公認建築積算士「QS」として世界各国でコストマネジメントの主導的な役割を果たしている)。

RICCSは、建設や不動産を中心に資産に幅広くかわる職能団体。146カ国に約15万人の会員(うち正会員は約10万人)がいる。日積協が認定する建築コスト管理士は、QSの称号を得ることができ

### 積算協会 英国RICCSと提携 CPD情報を相互提供

日本建築積算協会(BSI)が運営する最高位資格「建築コスト管理士」の有資格者には、英国王立チャータード・サーベイヤーズ協会(RICCS)と提携協力を図る。RICCSは、建設や不動産を中心とした幅広い活動に関する情報提供を受けることが可能となっ

現在では世界146カ国・

協会約15万人(うち正会員10万人超)の規模で活動している。会員のCPD情報は、RICCSの個人正会員として直接入会できる道が開けた。

1868年に設立されたRICCSは、建設や不動産を中心とした幅広い活動に関する情報提供を受けることが可能となっ

今回の覚書は、相互の専門知識などを交換・交流させて、長期的な提携関係を構築・維持し

相互に会員の入会も促進。BSIJの建築コスト管理士は、RICCSの個人正会員として入会でき

d Quantity Surveyor」の称号を得ることができ、このほか、2年に1度の同協会トップの会談や、シニアスタッフの定期的な連絡、専門家行事の後援などを行っている予定だ。